

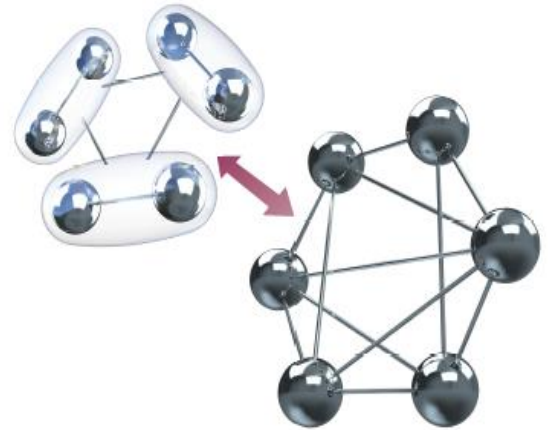
日本 MOT 学会 「モジュール化」対「すり合わせ」研究会 第1回研究会の案内

代表者：中田行彦（立命館アジア太平洋大学 教授）

日本 MOT 学会に「モジュール化」対「すり合わせ」研究会を、2016年4月1日から立ち上げました。研究会は、一方的な講演でなく、ある主題での参加者が知識を分け合う研究集会です。

目的：「デジタル化」によるビジネス・アーキテクチャの変化、つまり「すり合わせ」から「モジュール化」への変化の視点から、日本ものづくりを分析することを目的にしています。この分析をもとに日本ものづくりの競争力強化を提言します。

また、プレ研究会を、Ronald SANCHEZ 先生をお招きし、「Modularity in New Market Formation」を、経済産業研究所と共催で2016年5月30日（月）に行いました。



今回、本格的な第1回研究会を、下記内容で行います。

第1回 「モジュール化」対「すり合わせ」研究会

今回は「モジュール化の新しい動き」を主テーマとして、2件の問題提起と討論を行います。

日時： 2016年9月13日（火） 18:30～20:00

場所： 立命館 東京キャンパス （東京駅すぐ近くのビル内）

（詳細参考：<http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/>）

費用： 無料（研究会会員、非会員に関わらず）

基調テーマ：「モジュール化の衝撃：シャープ「企業敗戦」の深層」

問題提起者：中田行彦（立命館アジア太平洋大学 教授）

討議テーマ：「API エコノミーにおけるオープン・モジュラー戦略」

問題提起者：海野 大（NTT コミュニケーションズ株式会社）

参加方法：研究会へは、日本 MOT 学会会員以外でも参加できます。また、随時、研究会への参加を受け付けています。中田（nakata@apu.ac.jp）までメールで申してください。

必ず9月8日（木）までに、下記情報を記入し、中田（nakata@apu.ac.jp）までメールでお申ください。 東京キャンパスに入門ゲートがあり、事前申込者以外は中に入れません。

氏名、所属、住所（郵便番号）、メールアドレス、日本MOT学会の会員か否か

また、問題提起者を募集します。研究を進展させたい人、自分が問題意識に悩んでいる人、他の人の意見を聞きたい人、専門家から示唆を欲しい人など、奮って中田（nakata@apu.ac.jp）まで申し込みください。大学院生大歓迎です。